

和庄中学校区 カリキュラムマップ

目指す児童生徒像

○自ら考え判断し，自主的・主体的な行動ができる児童生徒

1 「育成すべき資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性
後期	知識及び技能を確実に習得し，新たな知識や技能を既得の知識及び技能と関連付けながら他の学習や生活の場面で活用することにより深く理解することができる。	習得した知識や技能を活用したり，相互に関連付けたりしながら，問題発見・解決につながったり，考えを表現したり，伝え合ったり，理解したり，形成したりしている。	自ら課題を進んで見だし，その解決に向けて，見通しをもって粘り強く取り組み，探究的に課題解決への挑戦をしようとしている。
中期	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し，新しい知識や技能を既得の知識及び技能と関連付けながら他の学習や生活の場面で活用することができる。	習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用して，問題発見・解決につながったり，考えを表現したり，伝え合ったり，理解したり，形成したりしている。	自ら課題を進んで見だし，その解決に向けて，見通しをもって粘り強く取り組みようとしている。
前期	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し，他の学習や生活の場面で活用することができる。	習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用して，問題発見・解決につながったり，考えを表現したり，伝え合ったり，理解したりしている。	自ら課題を進んで見だし，その解決に向けて，粘り強く取り組みようとしている。

2 カリキュラムマップ作成にあたり，発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間，各教科等の特徴的な配列や重視した取組等	交流・感謝の手紙（感謝・貢献）
後期	自己の生き方を考える	「こんな人間になりたい」と志を語ることができる生徒の姿を目指し，国語科を中心として文章構成や表現方法を磨き，総合的な学習の時間で，生き方に関わる学習活動等を通じて，「自己理解」を深めていく。それらを通して，最終的には自己の生き方を様々な場面で語るようにした。	
中期	社会と自分とのかかわりを学ぶ	社会科や総合的な学習の時間では，郷土の歴史や文化，産業を学習する際，課題解決に必要な情報を収集，活用，整理し，多面的・多角的に考察し表現する「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」の育成を重点化して指導する。それらを通して，自己の成長には周囲の人々や地域社会との関わりが欠かせないものであることに気付かせるようにした。	
前期	自分を知る	生活科においては，児童が身近な人や社会，自然と直接かかわる活動や体験を段階的に取り入れながら，知的な世界を広げたり深めたりすることで，自立への基礎を養っていく。3，4年生では，社会科・理科と総合的な学習の時間との関連を図り，地域社会の一員としての自覚をもつようにする。その取組をベースに4年生の総合的な学習の時間の「1/2成人式」では，“夢を持つ”発表ができるようにした。	

3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

自主的・主体的に行動ができる児童生徒の育成を目指して，総合的な学習の時間で，自分自身を見つめ，どうあるべきかを語ることができるような単元を系統的に配列している。呉市の中でも歴史的・文化的に重要な宝が校区内に多く存在する特色を生かし，各教科においても地域社会との関わりを大切にしたい単元づくりを工夫している。また，地域学習との関りにおいて，「自分の命は自分で守る」児童生徒を育成するため，9年間を通じて継続的・計画的に防災教育に取り組むようにしている。

